

LPL/HTGL Activity Assay Kit

- 研究用試薬 -

製品特長

- ★ 同じ検体でLPLとHTGLの活性が測定できます。
- ★ 簡単な操作で、良好な再現性が得られます。
- ★ 共存物質の影響を受けません。
- ★ 汎用の自動分析装置で測定できます。

測定原理 (酵素法)

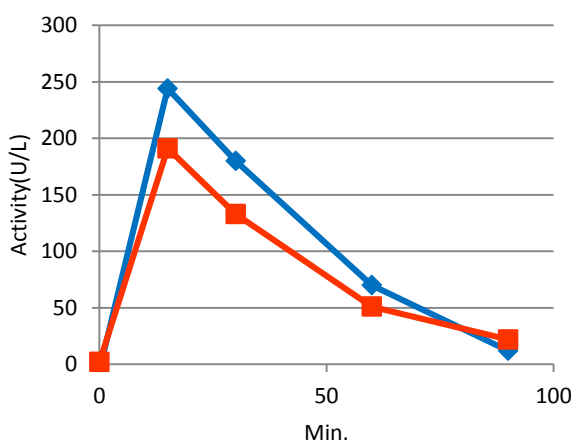
LPLに対してトリグリセリド (TG) と同様な基質性を示すジグリセリド (DG) を基質として、LPL 反応を行います。ここでは、遊離脂肪酸とモノグリセリド (MG) が生成され、さらにMGリパーゼによる共役指示反応系を組合わせた発色の増加速度からLPL活性を測定できます。この際、LPL活性発現にはアポリポタンパク質CII (アポCII) を活性化剤として添加することで特異的な活性を測定することができます。

製品構成

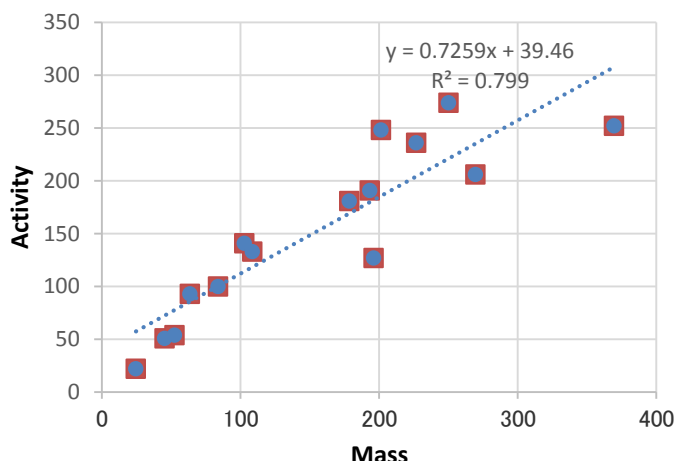
製品コード	製品名	包装 (1Kit) ※	価格	測定範囲	測定対象		
					血清	血漿	EDTA-血漿 (ポストヘパリン)
27185	LPL/HTGL Activity Assay Kit - IBL	R1A, B 各5mL×2 R1 溶解液 5mL×4 R2 試液 5mL×2 標準物質 0.5mL×2	¥250,000	135~431U/L (HTGL) 30~153U/L (LPL)	—	—	○

※ コントロール同梱のキットは #27264 LPL/HTGL Activity Control Plus Kit - IBL です。

測定データ



健康人のヘパリン静注 (30 units/kg) 後の継時的採血による LPL/HTGL活性の測定例
— : LPL — : HTGL



ヘパリン静注後血漿のLPL活性とLPL蛋白量 (mass) の相関性

参考文献: [A novel method for measuring human lipoprotein lipase and hepatic lipase activities in postheparin plasma.](#)
 Imamura S, Kobayashi J, Nakajima K, Sakasegawa S, Nohara A, Noguchi T, Kawashiri MA, Inazu A, Deeb SS, Mabuchi H, Brunzell JD. *J Lipid Res.* 2008 Jul;49(7):1431-7. doi: 10.1194/jlr.M700528-JLR200. Epub 2008 Mar 14. PMID: 18344410